

# ぼだい樹 28号

2002/10/1  
宝寿院  
〒496-0851  
津島市神明町 2  
0567/254154

## 宝寿院歳時記

平成十四年もあとわずかとなりました。デフレの文字が躍り、庶民は一体これからどうなるのかと、不安と焦燥の中にいます。浮き沈みの激しい世の中を、仏教信仰は生き続けています。仏様は、私達を見守り続けておいでです。長い長いトンネルも、楽しむ方法があるようです。例えば、一円の値打ちを考えてみます。又卵一つの値段と 過去六十年を思い出してみましよう。有為転変のこの世に有ってずっと同じ値段です。テレビは昭和二十五年始めは十七万円でしたが、今はカラーが1万円からあります。少々記憶違いがあるかもしれませんが、是非 思い出してみましよう。大切な事が、生きる知恵が、生き抜く方法が見つかるように思えます。

**有為転変** 仏教用語です。因と縁によって作り出される世界。無常この世の事です。

弘法大師作のいろは歌に **有為の奥山今** **日越えて**とありますが、この世に活きる私たちが 煩惱から逃れる事の難しさを

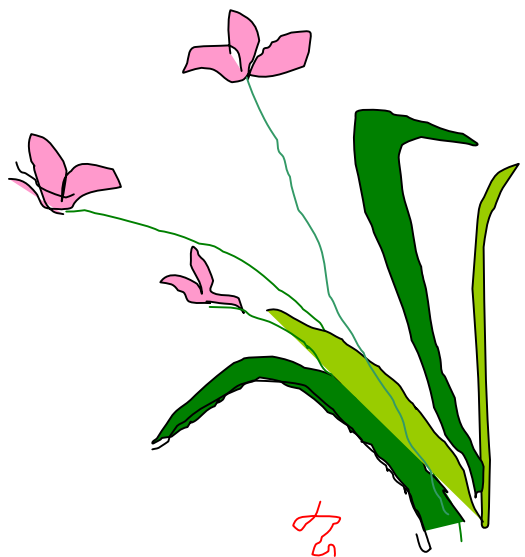
越える事が難しい 奥山にたとえています。執着を離れて悟りを得よう。

**十善戒実践**

秋の七草（ききょう・おみなえし・ふじばかま・萩・すすき・なでしこ・くず）が庭一杯に繁茂して 秋を楽しみました。ついでに 春の七草（せり・なずな・ははこぐさ・はこべ・かぶ・だいこん）は 薬草。平安時代は 桔梗ではなくて 朝顔の原種でした。秋の果物、春の果物を庭に植えて楽しむのも 一石二鳥ですね。

寺では 桃 文旦 梅がなりますが、どれも虫がいかだを並べたように出てきます。殺虫剤を多用すると 蝶やとんぼが発生しなくなってしまうので、難しいことです。萩は 六月に咲き 終わって刈り込みます。九月には 再び 咲く高台院萩です。

今年には 白色の深山萩が咲かずに 枯れ 残念。ジンジャが 元気でいつまでも 咲き 素晴らしい香いを放って 他のハーブを寄せ付けません。先日テレビで 植物の 他感作用（アレロパシー）について 放映していました。当院では 一年中花が咲いている事を 目標にして 庭造りをしています。時々 植物の不思議な作用に出会って 驚きます。庭の混植の知恵を 植物から学んでいます。



## 正月行事おしらせ

平成十五年から 一月八日 当日の参詣者の受付が変わります。

当日 **本堂の受付**で **番号札**をわたします。これが**福引きの番号**となります。ですので、必ず 受付で祈祷申し込みの名前を告げて、確認して下さい。

番号札を受け取って入場下さい。

祈祷の申し込みは、十一月から受け

付けています。お申し込み下さい。

吉祥の干支切絵は 元朝護摩申し込

みを宝寿院まで持参の方に進呈い

たします。数に限りがございます。

宝寿院御宝暦は 皆様に進呈します。